



生活の見直しを

あっという間に9月も後半になりました。本当に時間の経つのは早いものです。

まだまだ暑い日が続いていますが、今後少しずつしのぎやすくなってくるものと思います。この秋が子供たちにとって実りの秋となるよう、2学期が始まったこの時期にやっておきたいことが2つあります。それは、**子供たちへの「伊良林っ子の5つの約束」と「伊良林っ子の一日」の周知徹底**です。

「伊良林っ子の5つの約束」とは、次のようなことです。

① あいさつ・返事・ふわふわ言葉

あいさつと返事は、人と関わる第一歩、相手とコミュニケーションをとる最初のステップです。相手を認めて尊重する行為であり、人間関係をよくするきっかけにもなります。

「ふわふわ言葉」とは、相手を肯定したり、励ましたり、温かく包んだりする言葉のことで、例えば、「ありがとう」「ごめんね」「よく頑張ったね」「大丈夫だよ」といった言葉です。相手に安心感を与え、お互いに気持ちがふわふわと温かくなります。

② はきものそろえ いい気持ち

「はきものをそろえると心もそろえ」とよく言われます。はきものをそろえるという行為は、ほんのちょっとしたことですが、その人の心のありようを示すものです。「はきものが散らかっていると心が乱れている。そろっていれば心が落ち着いている。」はきものそろえは、身に付けておかねばならないしつけの一つです。

③ すわって準備、「一分前」

学校生活の大半は、教室での授業です。子供たちは、一時間一時間の授業を受けることで、学び、成長します。一分前に席にすわって準備をすることは、心を落ち着かせることにもなり、大切な心がけです。

④ だいすきそうじ しっかりと

だいすきそうじの「だいすき」は、望ましい四つの掃除の仕方「だまって」「いっしょうけんめい」「すみずみまで」「きれいに」の最初の一字をつなげています。だいすきそうじの習慣化によって、美しい学校、静かで落ち着いた学校をつくれます。

⑤ 無言整列・はさみ歩きがんばろう

無言整列は、静かに列をつくる行動です。みんなの心がひとつになって、集中しなければなりません。はさみ歩きの「はさみ」は、望ましい三つの歩き方「はしらない」「さわがない」「みぎがわを」の最初の一字をつなげています。この無言整列とはさみ歩きの習慣化によって、何事にも集中できる、静かで落ち着いた学校をつくれます。

「伊良林っ子の一日」は、登校、学習、休み時間、給食、掃除、下校時などの留意事項になります。充実した学校生活を送る上で必要なことです。ぜひ、ご家庭でも目を通していただき、子供たちへの声掛けをよろしくお願いします。（「伊良林っ子の一日」は別途お配りしております。）

修学旅行に行ってきました

9月12、13日は、6年生の修学旅行を実施しました。一生に一度の小学校の修学旅行、家庭を離れ、阿蘇の大自然を満喫しながら友達と過ごす一泊二日は、子供たちにとって夢のような楽しい時間となりました。

1日目、最初の訪問地は「阿蘇ミルク牧場」。ここは昼食会場でした。自然食バイキングを堪能しました。

午後からは「阿蘇人（あそんもん）ツーリズム」。「木工」「ブルービー」「みつろうキャンドル」「あか牛そば打ち」「プラバン作り」「気象教室」の6つのグループに分かれ、現地の方々にご指導いただきながら、体験学習をすることができました。



夕方、ホテルに到着。食事・お風呂・お土産選び、そして各部屋での自由時間を満喫しました。

2日目は、「グリーンランド」での活動です。暑い中でしたし、多少寝不足のある子供たちでしたので、熱中症の心配をしましたが、皆、体調を崩すことなく元気いっぱい活動を楽しむことができました。



最後は、船に乗って有明海を渡りました。デッキの上では、海風にあたりながら、友達との会話が弾んでいました。

とても楽しく、充実した2日間でした。活動が楽しただけでなく、子供たちにとっては、保護者の方々、阿蘇の方々、ホテルで働く人、バスの運転手さん、ガイドさん、写真屋さんなど、多くの人が自分たちのお世話をしてくれていることを、肌で感じた旅行となりました。子供同士、お互いの絆も一層深めることもできました。きっと、この旅行での出来事は、子供たちにとって、小学校時代の素晴らしい思い出の一コマとして、しっかりと心に刻まれたことだと思います。私も、6年生の子供たちのことをたくさん知ることができ、本当に素晴らしい時間を過ごすことができました。みんなで、この旅行で得たことをこれからの学校生活に生かしていきたいと思っています。